

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	2	必修
担当教員			
池上 益世			
月3、金3			
添付ファイル			

科目の概要	集団や地域の栄養問題をアセスメントし、適切な公衆栄養プログラムを計画、実行、評価、改善という一連の公衆栄養マネジメントを学び、現在行われている公衆栄養プログラムを知ること、自ら組み立てる力を養うための概念と理論を理解する。
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション・栄養疫学1 講義の進め方、成績評価について説明する。 教科書の栄養疫学の概要、暴露情報としての食事摂取量、食事摂取量の測定方法（24時間思い出し法まで）を読み、内容を把握しておくこと</p> <p>第2回 栄養疫学2 教科書の食事摂取量の測定方法、食事摂取量補評価方法について内容を理解しておくこと。</p> <p>第3回 地域診断と公衆栄養マネジメント1 教科書の公衆栄養マネジメントについてよく読んで内容を理解しておくこと。</p> <p>第4回 地域診断と公衆栄養マネジメント2 教科書の公衆栄養アセスメントについてよく読んで内容を把握しておくこと</p> <p>第5回 地域診断と公衆栄養マネジメント3 教科書の公衆栄養アセスメントについてよく読んで内容を把握しておくこと</p> <p>第6回 地域診断と公衆栄養マネジメント4 教科書の公衆栄養プログラムの目標設定についてよく読んで内容を把握しておくこと。</p> <p>第7回 地域診断と公衆栄養マネジメント5 教科書の公衆栄養プログラムの計画、実施、評価についてよく読み内容を把握しておくこと。</p> <p>第8回 地域診断と公衆栄養マネジメント6 教科書の公衆栄養プログラムの計画、実施、評価についてよく読み内容を把握しておくこと。</p> <p>第9回 小テスト 第1回から第8回の講義内容について復習するとともに管理栄養士国家試験の過去問について自習しておくこと</p> <p>第10回 公衆栄養プログラムの展開1 教科書の地域特性特性に対応したプログラムの展開についてよく読み理解しておくこと</p> <p>第11回 公衆栄養プログラムの展開2 教科書の食環境整備のためのプログラムの展開についてよく読み理解しておくこと</p> <p>第12回 公衆栄養プログラムの展開3 教科書地域集団の特性別プログラムの展開についてよく読み理解しておくこと</p> <p>第13回 まとめ 第1回から第12回の総まとめを行う</p> <p>第14回 公衆栄養活動の実際1 都道府県、政令市、中核市の公衆栄養業務について、都道府県や保健所のホームページ等で調べておくこと。</p> <p>第15回 公衆栄養活動の実際2 都道府県の管理栄養士業務について、都道府県や保健所のホームページ等で調べておくこと。</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	地域や職域における健康の維持・増進を目的として、それらを取り巻く自然、社会、経済、文化的要因に関する情報の収集、分析、評価、判定を行い、栄養関連サービス提供のマネジメントを実施するための理論と方法を学ぶ。
授業の方法	講義形式で行う。教科書及び配布プリントで授業を進める。毎時間復習テストを行う。講義期間中に1回小テストを行う。
成績評価の方法	定期試験（70%）、授業態度・提出物（20%）、小テスト（10%）
教科書・テキスト	公衆栄養学/第一出版/井上浩一他
参考書	国民衛生の動向（最新版）、国民健康・栄養調査報告書（健康栄養情報研究会編・第一出版）、栄養士必携（日本栄養士会編・第一出版）
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	社会情勢などを含めた幅広い知識が必要となるため、日々伝えられる報道に関心を持ち、積極的に公衆栄養の情報を収集する。

履修上の留意事項	公衆栄養臨地実習に関する科目です。意欲的に学習することを希望します。
オフィスアワー	木曜日 2限
実務経験	保健センター、保健所で行政栄養士として勤務
その他	